

リブ溶接確認用試験機

TR-400 型

あと施工アンカー引張試験機

取扱説明書



試験対象物

- ・吊りピース
- ・リブ溶接



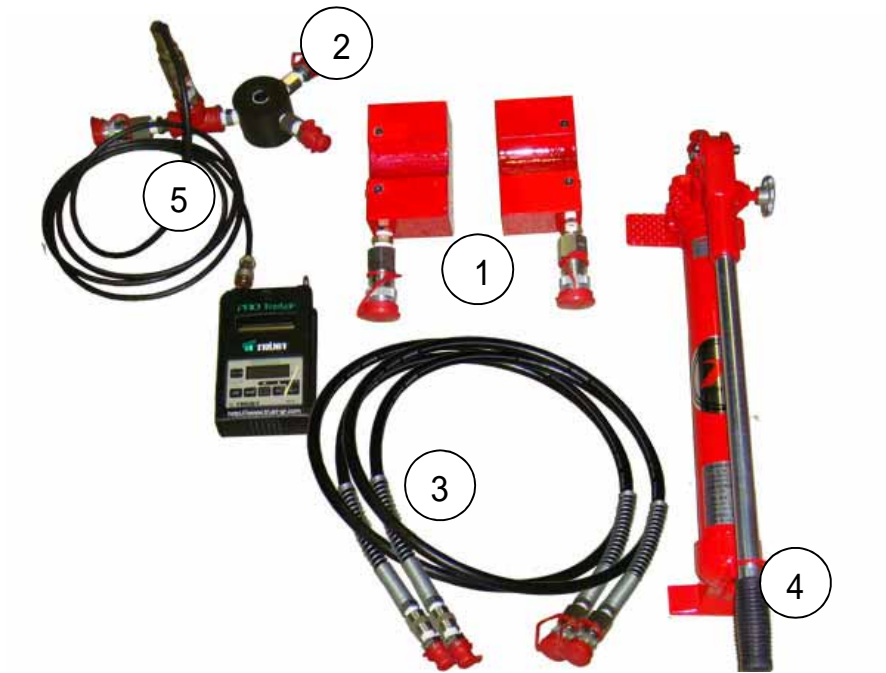
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

| | | | |
|----|------|----|---------|
| 1, | 各部名称 | …… | P-1 |
| 2, | 組立手順 | …… | P-2 ~ 3 |
| 3, | 操作手順 | …… | P-4 ~ 7 |
| 4, | 注意事項 | …… | P-8 |

1, 各部名称



リブ溶接試験用シリンダー 2台

分岐ブロック

油圧ホース 2本

油圧ポンプ

圧力変換器、プリンタ(TP)

2, 組立手順



試験体例(リブ溶接)



試験体のリブ穴にピンシャフトを通します。



左側のシリンダーをシャフトの下に
設置します。



右側のシリンダーをシャフトの下に
設置します。



シリンダーのストロークは、10mmです。

シャフトとシリンダーの隙間が10mm以上の時は、
ライナープレートを入れて隙間が小さくなるように
してください。



油圧ホースのキャップをはずし、
リブ溶接試験用シリンダーの
カプラにカチッと音がするまで
押しはめ込みます。

⚠ カプラをしっかりとめ込んで下さい。
隙間があると油もれや故障の原因になります。



油圧ホースに分岐ブロック・圧力変換器を
つなぎます。



圧力変換器に、油圧ポンプを取り付けます。



デジタルプリンター付表示機と
圧力変換器に接続ケーブルを
締め付けます。

3, 操作手順



デジタル表示機の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。



電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。

バックライト使用時は「LGT」
の位置に合わせます。



電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為操作
しないで下さい。

「----」と表示されたあと、「0.1」や「0.2」等の
数字に変化します。



測定値を設定する場合、[設定値]ボタンを
押します。

ボタンは少し長めに押します。



点滅数字を で選択し、荷重設定値を
加数で設定します。

シフトボタンを押しながらの操作で
減数します。



荷重設定入力後、[セット]ボタンを押し、
設定を完了します。



レバー握り部を手で上から押して、
ロックピンを外します。



ポンプ後部の空気弁を
左に回して開いて下さい。



油圧ポンプの出戻バルブを右方向
(圧力計の方向)に回します。

⚠ (停止するまで回してください。但し工具等を使用して回すと破損の恐れがありますので必ず手で回してください。)



[ゼロ]ボタンを押し、ゼロ設定をします。
表示部に「- - -」表示後、通常表示に戻ります。

[ゼロ]ボタンのランプが点灯します。



最大値の表示を保持する場合は、
[ピークホールド]ボタンを押します。

[ピークホールド]ボタンが点灯します。



ハンドルをゆっくり上下に繰り返し、
設定荷重まで加圧します。

設定値に達するとアラームが鳴ります。




[印字]ボタンを押し、測定データをプリントします。

「Pr」・「PE」が表示される場合や
印字が薄い場合は新しい電池に
交換して下さい。



出戻バルブを左方向(ポンプ側)にゆっくり
回して減圧します。

 急激に減圧するとゲージを
破損する恐れがあります。

使用後

- ・バルブを右に回して閉めて下さい。
- ・空気弁を全閉にして下さい。
- ・レバー握り部をロックピンで固定して下さい。
- ・油圧ホースを外して下さい。
- ・カプラには必ずキャップを付けて下さい。
- ・プリンタの電源を切ってください。

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 圧力計には、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 使用中油温が60 を越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用して下さい。
- 6, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 7, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 8, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所によって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。